

## 住民の課題解決のため 自ら率先して動く

伊興本町で生まれ、現在も暮らす「伊興っ子」。祖父母や両親も町会に積極的に参加しており、それが当たり前前の環境で育ってきた。子どもの頃は、町会単独で運動会をするほど賑やかだったという。父親が長く町会の役員や副会長を務めていた影響もあり、役員になったのは52歳の頃。会長になったのは63歳だった。町会内で60代はまだ若手。新しい発想で積極的に動く会長であることを期待されており、自身でもそういう姿勢で取り組んできた。

住民同士のコミュニティの場として、毎月2回、3か所の公園清掃を実施。第3土日の朝8時から行っている。5年前に始めた頃は数名だった参加者も、現在では平均50名、多い時は80名程。清掃時間が「10分間」というのもポイントだ。負担にならず、リピーターにつながり

## 地域の仲間とつながり 共に楽しみながら

「会長は、見て見ぬふりをしない人のことだと思うよ」と軽やかに語る。見ないふりをしたくなる「困りごと」をひとつひとつ突破していく力になったのは、「人とのつながり。仲間と一緒に取り組む。大変なことももちろんある。でも、やるなら徹底的に楽しみたい」という。生まれも育ちも浅草。父親が創業した自動車修理会社を継いだタイミングで足立区に転入。30歳だった。町会入会と同時に役員になった。仕事の関係で縁があった人に「誘われた」からだ。「ご縁は大事にしたいからね」と笑う。

さらに、子どもが通う小中学校のPTAの役員を歴任。東伊興小学校、第十四中学校のPTA会長もそれぞれ務めた。退任後も、青少年委員として子どもたちのために尽力。59歳で町会の会長になるまで続けた。前会長からの指名だった。



た。参加賞はジュース、さらに子どもにはお菓子もプラス。参加がきっかけで町会に入会する人もいる。河内会長は皆勤だ。毎回、声をかけていく中で顔見知りになり、身の上話を聞くこともある。相談を受けた町会員の課題解決のため区役所に同行することも多い。おかげで様々な部署に知り合いができた。

会長になってからもスタンスは変わらない。「できない理由は、いくらでも浮かんでくるよね。でも、できる方法を探す。新しく始めてみたりとかさ」。例えば、平成8年から始めた落語会。行事で季節の移ろいを楽しむ浅草っ子の血が騒ぎ企画した。町会の枠を越え、近隣の有志で春と秋の2回、伊興寺町のお寺での開催を続けている。平成18年からは2か所に増え、夏と冬も開催。毎回盛況だ。「入ってみれば楽しさが分かる」という町会・自治会。「思うね、入って確かめてみたら?」

# 会長に訊け!



昭和30年生まれ、67歳。好きな言葉は「明けぬ夜はない」。例え辛い時でも「楽しいことに目を向ける」。オフの時間を過ごす姿勢も、会社経営や会長職と同じだ。一人旅をはじめ、学生時代から好きな落語や歌舞伎鑑賞、博物館に足を運んだり、お酒を飲むのも好き。いつも「徹底的に」楽しんでいる。

伊興町自連 副会長、伊興東町会長  
**吉川 輝雄** Yoshikawa Teruo

伊興町自連 会計、伊興北根町会長  
**河内 勝利** Kawauchi Katsutoshi

昭和29年生まれ、68歳。好きな言葉は「時間は資源」。自分の時間はもちろん、誰かの時間も無駄にしたいくないため、遅刻は厳禁だ。もちろん、空いている時間も有効活用。畑仕事や草むしり、雨の日は本を読むようにしている。「自分の時間は自分でコントロールできるはず。何事もきちっとやりたい」

## 町会・自治会に加入する 3ステップ

※ 自分のエリアの町会・自治会員をご存知の方は直接お申込みください。  
(都営・区営住宅は入居時にご案内します)

1 加入方法がわからない方は  
下記の方法でお申込み

● ネットで 足立区公式サイトへ



上記QRコードを  
読みとってください

ページ内の  
加入申込み  
専用フォーム  
に入力

● 郵送・ファクスで 住所、氏名、電話番号を明記し送付

郵送 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1  
地域調整課地域調整係宛て  
ファクス 03-3880-5603  
問合せ 足立区地域調整課 TEL 03-3880-5864

2 該当の町会・自治会から  
連絡が来ます

3 加入!



ようこそ!  
地域の団結で  
安心を!

